

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年7月5日のビデオメッセージ（要約）>

五年前に日本に越してきた私たちは、近所の様子を知りたいと思って、散歩することにしました。ある晩、散歩していると、路上に動物の影が見えました。最初、ネコかと思いました。それが電線の上を歩くハクビシンでした。それ以来、ハクビシンを何度も目撃しています。先週は、社会的距離をきちんと守りながら、近所の子どものために外でマシュマロを焼きました。その時もハクビシンに出くわしました。いったいどこにハクビシンの巣があるのかと思いますが、わかりません。さて、イエス様と弟子たちが各地を回って宣教したときも、きっと、いろんな動物を目にしたことでしょう。ルカによる福音書9章を読むと、イエス様と弟子たちがサマリアで宣教した様子が書かれています。イエス様がエルサレムに行こうとしていることを知ったサマリアの人々は、怒り出しました。エルサレムに敵対していたからです。それで、イエス様の一行に宿泊場所を提供することを拒否しました。そのとき、二人のひとが、イエス様について行きたい、と申し出ましたが、イエス様はこうおっしゃいました。「狐には穴があり、空の鳥には巣がある。だが、人の子には枕する所もない」ここを読むと、イエス様はわたしたちを、特定の場所や建物に来るよう招いておられるのではないことがわかります。イエス様はあなたを、イエス様ご自身の所に来るよう、招いておられるのです。わたしたちが本当に休息できる場所は、イエス様のご臨在の中にあります。イエス様がわたしたちに求めておられることは、わたしたちがイエスを信頼し、イエスを第一にすることです。あのハクビシンの巣がどこにあるのか、わたしにはわかりませんが、イエス様が今どこにおられるかは、わたしにはわかります。イエスを信じるあなたの心のなかに、イエスは住んでいてくださるのです。